

京都地下鉄整備(株)		令和2年度経営計画 兼 経営努力結果				
基本事項						
所管局課	交通局高速鉄道部営業課	本市出えん金	22,000 千円			
基本財産/資本金	40,000 千円	本市出えん率	55.0 %			
「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」に係る「今後の方向性」						
方向性	存続	目標年度	-			
「今後の方向性」に向けた基本的方針						
業務面	市営地下鉄の車両・施設・設備における保守管理や更新時の監理業務等を的確に遂行する。					
財務面	監理業務等を的確に遂行することにより確実な受注を得るとともに、人件費を中心とした経費抑制に努め、安定的な経営を行う。					
組織面	安定した人材確保に努めながら、管理部門の業務効率化により人員体制のスリム化を図る。					
その他	特になし					
当年度の取組目標に対する意見						
所管局	中期経営計画の最終年度となる令和2年度は、計画に掲げた管理部門の業務効率化を図り人件費の抑制に努めるとともに、引き続き、市営地下鉄の保守管理や更新時の監理業務等を的確に遂行することで、売上高を維持し、安定的な経営へ向けた取組を推進していただきたい。					
当年度の「今後の方向性」の進捗状況及び各取組に対する総括(※)						
団体	管理部門において1名を減員し、人件費を抑制することができた。一方、修繕件数は増加したが、受託業務を的確に遂行することで、売上高は増加し、純利益を若干増加することができ、安定的な経営を推進することができた。					
所管局	令和2年度決算においては、前年度と比較し、建築設備、電力設備及び電気設備における修繕件数が増加したことから、売上高及び売上原価が共に増加した。また、職員1名を減員したことから人件費が抑制され、損益については、当初予算に比べ黒字幅を拡大し、目標値を上回る結果となった。 引き続き、経費削減と業務の受注拡大を推進し、収支均衡の維持に努めていただきたい。					
(1)業務に関する取組						
目標 「監理業務等の的確な遂行による安定的な経営」						
中期経営計画における取組	市営地下鉄の車両・施設・設備における保守管理や更新時の監理業務等を的確に遂行し確実な受注を得ることにより、売上高の維持に努め、安定した経営を行う。					
当年度目標	市営地下鉄の車両・施設・設備における点検・整備作業の監理業務等を的確に遂行し安全運行に資することにより、今後も確実な受注を得て安定した経営を行う。					
当年度結果 (※)	市営地下鉄の安全運行に資するよう受託業務を的確に遂行し、目標値を上回る売上高を達成することができ、安定的な経営を行うことができた。					

京都地下鉄整備(株)				令和2年度経営計画 兼 経営努力結果			
------------	--	--	--	-----------------------	--	--	--

指標	売上高 (安定した売上高の維持)								(単位:千円)	
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度			
中期経営計画	-		233,000		233,000		233,000			
	見込	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)		
実績	234,000	233,875	233,000	246,852	234,300	235,870	232,800	247,461		

(2)財務に関する取組

主要財務数値							(単位:千円)
	平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考欄
	予算	実績	予算	実績	予算	実績(※)	
経常収益	233,050	246,900	234,348	236,013	232,847	247,508	
経常費用	232,500	245,088	233,500	233,804	231,600	242,338	
当期経常増減額	550	1,812	848	2,208	1,247	5,171	
当期正味財産増減額	370	1,632	668	2,002	1,001	4,191	
資産合計	-	217,914	-	218,795	-	229,971	
負債合計	-	22,873	-	21,752	-	28,737	
正味財産	-	195,041	-	197,043	-	201,234	
うち累積損益額	-	183,841	-	185,843	-	190,034	

目標「安定的な経営」

中期経営計画における取組	市営地下鉄の車両・施設・設備における保守管理や更新時の監理業務等の的確な遂行により売上高の維持を実現するとともに、業務効率化による組織のスリム化など人件費を中心とした経費抑制に努め、安定的な経営を行っていく。
当年度目標	可能な限り経費の抑制に努めるとともに、的確な業務遂行により確実な受注を得て売上高を確保し、安定的な経営を行う。
当年度結果(※)	人件費抑制等経費節減に努める一方、受託業務を的確に遂行することにより、目標値を上回る売上高を達成し、安定的な経営を行うことができた。

指標	決算における当期純損益金額の改善 (収支均衡の維持)								(単位:千円)	
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度			
中期経営計画	0		370		770		770			
	見込	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)		
実績	△400	△562	370	1,632	668	2,002	1,001	4,191		

京都地下鉄整備(株)	令和2年度経営計画 兼 経営努力結果
-------------------	-------------------------------

(3)組織に関する取組

目標 「安定した人材確保と人員体制の見直し 」	
中期経営計画 における取組	京都市交通局のOB等の経験豊富な社員を、比較的安価な人件費で雇用し、京都市営地下鉄の車両や設備の保守点検における作業監理業務などを行ってきた。 今後、適正な人員配置・効率的な業務運営により、組織のスリム化を図っていく。なお、計画期間中には、管理部門の業務効率化による人員減（1名減）を令和2年度に実施する予定である。 人材確保については、鉄道の保守業務という特殊な業務であり、安全な運行を維持するため、質の高い人材を安定的に確保できるよう努める。
当年度目標	交通局や民間会社等と連携し業務運営に必要な人材を確保するとともに、管理部門のスリム化を実施する。
当年度結果 (※)	管理部門で1名を減員し、組織のスリム化を図るとともに、関連民間会社と連携し、経験豊富な職員の出向を図った。

指標	人員体制の見直し（管理部門のスリム化）							(単位：人)
	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
中期経営計画	42		43		43		42	
実績	見込	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績(※)
	43	43	43	43	43	43	42	42